



# 人同協だより

2020（令和2）年3月31日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

## さしのべた その手がだれかを すくうはず

（令和元年度人権標語 常磐中学校 最優秀作品）

前期1号(令和元年10月1日発行)以降の活動などについて以下にご報告します。

### 1. 地区懇談会の実施（各自治会の出席者合計400名）

・各自治会の協力を得て、9月7日～12月1日まで開催しました。



赤堀一丁目集会所（11月10日） 人権ビデオ「あした咲く」視聴

- ・例年、地区懇談会は、予め人権センターから推奨された題材を選び、例えば人権ビデオを視聴したのち、懇談するという具合でした。今年はちょっと変化がありました。
- ・松本7カ町自治会では、講師に市川清博先生を招いて「オリンピック・パラリンピックと人権」の講演会が開催されました。
- ・ときわ5丁目自治会は、講師に「銀の櫂」のみなさんを招いて、ストーリーテリング～昔ばなし～語り聞かせが行われました。

### 2. 今年度の人権標語 入賞作品が決定！

・最優秀賞、優秀賞、佳作の各部門に12名の方々が入賞されました。



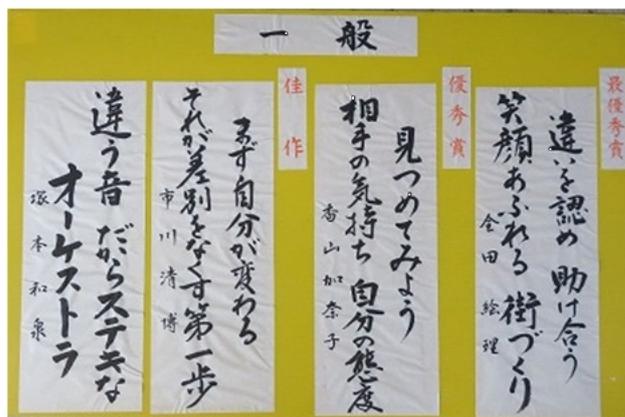
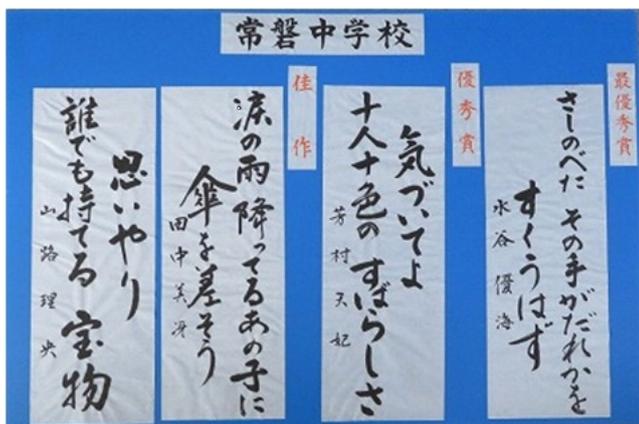
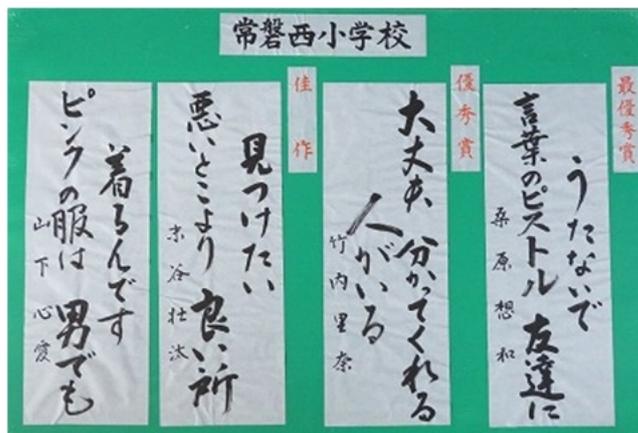
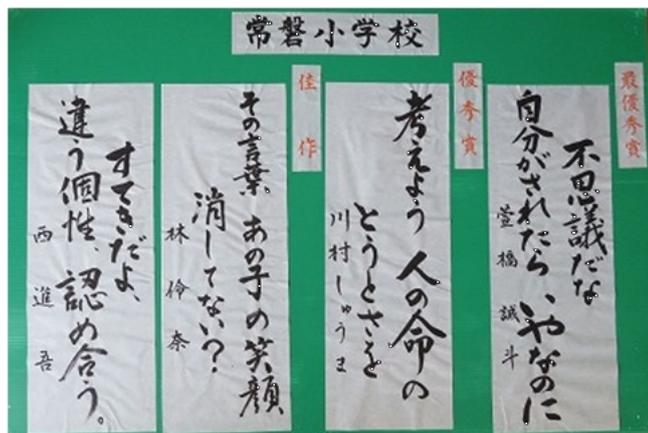
12月6日（金）常磐中学校体育館の人権フォーラム会場で常磐小・常磐西小・常磐中学校の部の入賞作品表彰状授与が行われました。（480名参加）

人同協牧野副会長より入賞者に表彰状授与

↓ 会場の常磐中学校体育館



## 令和元年度人権標語 入賞作品



### 3. 常磐まつり『人権の広場』に出展しました。〔11月3日(日・祝)〕

- ・会場 常磐小学校 2F 音楽室 特設会場 (スタンプラリー対象の会場)
- ・参加団体 常磐地区 人同協 常磐地区 人文協 (子ども人権文化育成協議会) 人権プラザ赤堀 手芸教室
- ・入場者数 850名 (手動式カウンターによる集計)

人同協：人権標語作品展と「一般の部」表彰



人文協：出演 すくらむ 人形劇クラブ  
「フルーツパフェ」のみなさん



人権プラザ赤堀 手芸教室 作品展



#### 4. 四日市市『じんけんフェスタ2019』に出展しました。〔12月8日(日)〕

- ・ 会 場 四日市市文化会館 2 F 展示室
- ・ 主な出展内容 人権標語、 常磐地区人同協コーナへ常磐地区のマスコットキャラクター「ときはちゃん」が応援(中央) ~ 催事会場での賑わい風景



常磐地区の「人権の広場」展示コーナ



常磐地区人同協 令和元年度「人権標語」展示



中学生人権作文コンテスト表彰式・朗読会 会場



パステルアートでクリスマスカード作りコーナ

#### 5. 「国立民俗学博物館」視察研修を行いました。〔2月1日(土)〕(参加者28名)

- ・ 研修目的は、多文化共生を学ぶ一助として、異文化を知ることテーマに大阪・吹田市の「国立民俗学博物館」を視察することにしました。往路バス車中で四日市人権センターから『考えてみましょう！外国人って誰のこと？』のお話とビデオ『ウエルカム～外国人の人権～』を視聴しました。さらに『博物館の紹介』ビデオで事前学習などを行った後、現地訪問をしました。
- ・ 博物館は、世界各地の民族文化の多数の展示物があり、約1時間半の滞在では十分な見学は困難でしたが、民族の多様性を学ぶきっかけになりました。



参加者集合「国立民俗学博物館」正面にて



本物「石貨」博物館内展示品より(広報部撮影)

## 6. 第71回全国人権・同和教育研究(全同教)大会が11月30日&12月1日の両日、津市スポーツセンター「サオリーナ」を中心にして開催されました。

大会テーマは『人権文化を確かなものに』

・当日の参加者は新聞報道で1万人だったそうです。近鉄津駅から会場の「サオリーナ」までシャトルバスで、ピストン輸送の送迎でしたが、全体会修了後の分科会場行きバスは、およそ1時間待ちの大盛況でした。(第61回 四日市市開催から10年ぶりの県内開催でした。)



・高田会館会場の第4分科会では、高田本山専修寺の栗廻隆興さん(常磐地区人同協 理事、常磐地区人権擁護委員)が課題『私の中に潜んでいたもの』で報告されました。栗廻さんが高田本山の職員になった頃、人権を担当してフィールドワークなどで被差別部落を訪れた時の「気づき」を持ち続ける 御自身の差別意識との葛藤。高田本山での人権啓発の取り組みや地元「誓覚寺」の住職としての人権に関わる思い。などを中心にした内容でした。(冊子『報告・資料集p276』参照)

## 7. 人権のオアシスひろば～「ありがとう」の魔法の力～(読者の寄稿から)

ありがとうは感謝の言葉を表す言葉ですが、それだけではなく、人の心を動かす魔法の力があります。それを私に教えてくれたのは、ひとりの女性でした。

ある日、地下鉄で若者が高齢の女性に席を譲ろうとしていました。その時、その女性が申し訳なさそうに「ありがとうね、でも次の駅でおりのので、」と言って断りました。

似た光景は時々見かけますが、大抵の人は「結構です」と言って断るだけで、そのあとでバツの悪い空気が流れるのが常です。断る前に「ありがとう」と加えるだけで、こんなに場の空気が和むなんて!その女性の若者への善意に心を配る思いやりと、ありがとうの言葉の力に感心しました。きっとこの若者は、又誰かに席を譲ろうとするでしょう。

「ありがとう」には、人の心の優しさを育てる魔法の力があると思いました。(塚本 和泉)

## 8. 2冊の人権図書(絵本)を購入しました。

- ・たべることは つながること  
～しょくもつれんさの はなし～

あなたが つな(まぐろ)の  
さんどいっちを たべたとしましょう。  
あなたが たべた まぐろは  
なにを たべているのでしょうか。  
ちいさい さかなを たべます。

では ちいさい さかなは  
なにを たべているのでしょうか・・・。

いきていくために たいせつな  
たべものの つながりを  
かんがえて みましょう。



(人権図書は常磐地区市民センターで保管を願っています。閲覧・貸出など詳しくは、センターへ問い合わせてください。 351-1751)

編集後記：本年度最後の事業として企画した広域事業講演会『ダイバーシティ(多様性)社会を目指して』は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止になりました。昨年準備を重ねてきましたが本当に残念です。これからの「多文化共生のまちづくり」に大事なテーマですので、来年度の早い時期に再開したいと考えています。会員の皆様、ウイルスに感染しない様にくれぐれもご用心ください。

(広報部 担当 H.Kawamura)